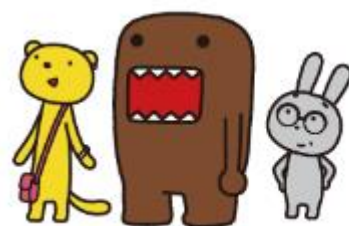


NHK

月刊みなさまの声 2023年12月



<目次>

1. 視聴者の声の総数と内訳	2
2. 放送・番組への声	3
3. インターネット業務への声	6
4. 受信料への声	7
5. 技術・受信相談への声	7
6. 経営への声	8
7. 反響が多かった番組から	9

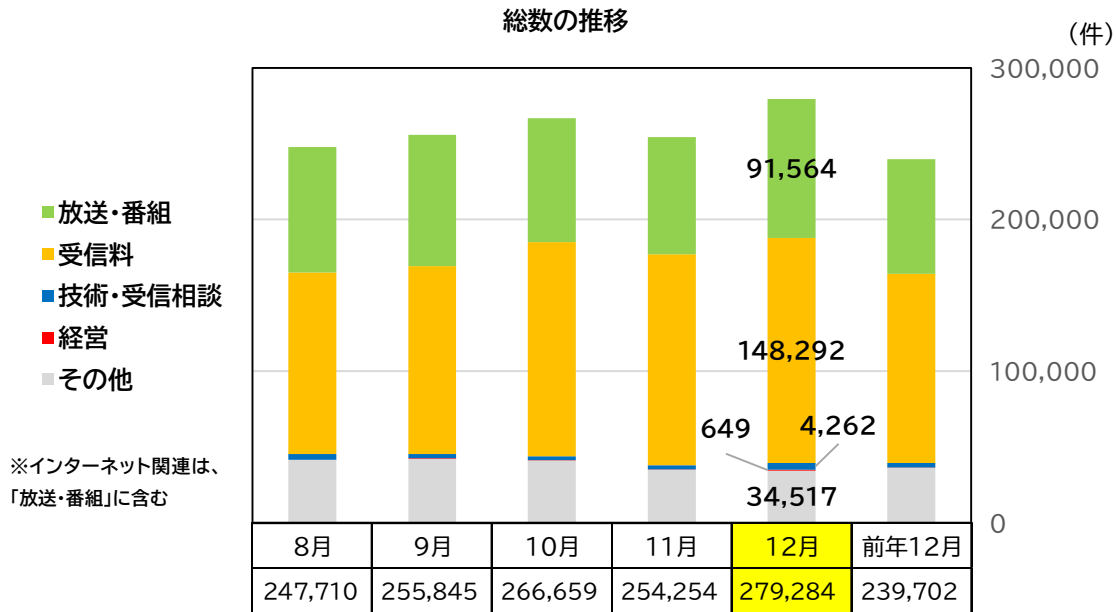
視聴者局

1. 視聴者の声の総数と内訳

■総数の推移と内訳

12月にNHKに寄せられた視聴者の声の総数は279,284件で、前月11月と比べ25,030件増加しました。これは主に、1日にスタートした「衛星波の再編」に対して、「個別番組の放送予定」や「4K番組の視聴方法」などの問い合わせが多く寄せられたことが影響しています。分野別の内訳では、「受信料」に関するものが148,292件(対前月比9,365件増加)で最も多く、次いで「放送・番組」が91,564件(対前月比14,311件増加)となっています。

なお、衛星波の再編については、視聴者のみなさまからの問い合わせに丁寧に答えられるように、ふれあいセンター(放送・営業・受信技術)の態勢を強化して対応しました。

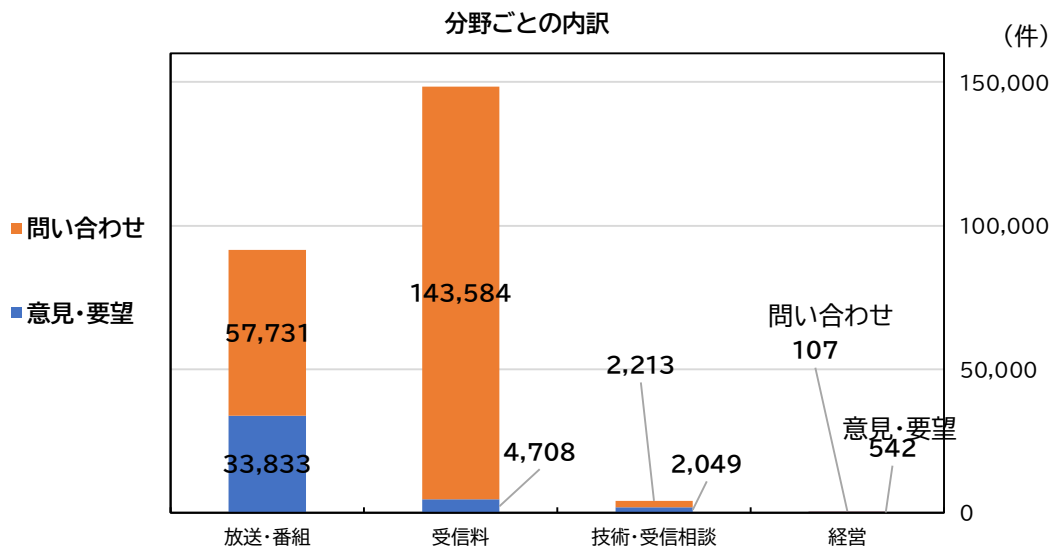


■分野ごとの内訳

「放送・番組」への声のうち、放送日や出演者に関する「問い合わせ」は57,731件で63.0%、番組内容や演出などに関する「意見・要望」が33,833件で37.0%でした。

また、「受信料」への声は、96.8%が料金や手続きに関する「問い合わせ」で143,584件、「意見・要望」は3.2%にあたる4,708件でした。

いただいた「問い合わせ」や「意見・要望」には、あらかじめ準備した資料などをもとに、ふれあいセンターをはじめとする受付窓口で回答したほか、内容によっては営業や番組制作など、担当部局と連携して対応を完了しています。



2. 放送・番組への声

「放送・番組」について寄せられた「意見・要望」は33,833件で、好評意見がおよそ4割、厳しい意見はおよそ6割でした。

	10月	11月	12月	2022年度平均
好評意見	27.3%	34.7%	36.1%	30.5%
厳しい意見	72.7%	65.3%	63.9%	69.5%

厳しい意見の中には、表記の誤りや誤読などをご指摘いただいたものもあり、放送関連では63件（前月66件）、ホームページ関連では40件（前月42件）でした。制作担当者に伝えて再放送などで修正したほか、番組の責任者らが出席する各種会議などでも情報を共有し、注意を促しました。

このうち、みなさまからの声を参考に、進化を遂げているNHKのAI(人工知能)によるアナウンスの技術や取り組みをご紹介します。

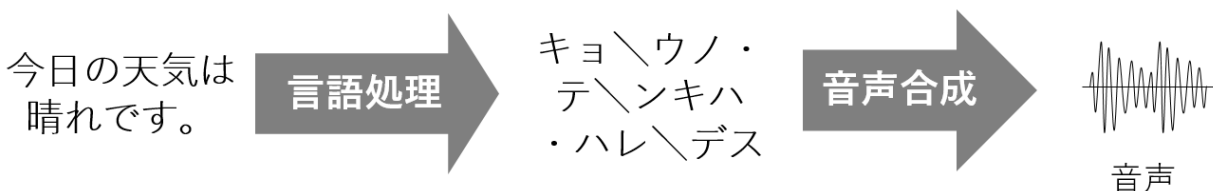
■未来に向けて進化を遂げる AIによるアナウンス

最近、ニュース番組や気象情報のコーナーで、「ここからは、AI自動音声でお伝えします」というコメントを耳にしている方は多いと思います。



「AI自動音声で伝えるニュース」

AI自動音声とは、文章に対応する音声を自動生成する技術で、NHK放送技術研究所が開発を進め、ラジオ放送などに取り入れられてきました。原稿を専用のシステムに入力すると、カタカナの文字とアクセントなどを示す記号に変換され、アナウンサーの読み方を学習したAIが読み上げるという仕組みです。現在は「おはよう日本」などのニュース番組のほか、全国27の放送局のラジオの気象情報で、導入しています。



AIアナウンスの仕組み

しかし、AIによるアナウンスの導入直後から、さまざまなご意見やご指摘を頂いてきました。

- ・ AIの音声でニュースを伝える時間がある。語尾がおかしくて、違和感がある。(60代男性)
※同様意見 複数
- ・ AIによるアナウンスで、微妙に音声のつながりが不自然に聞こえることがある。音声の意味がなかなか頭に入ってこない。(60代女性)

ご指摘にある違和感の要因の一つは、アクセントです。日本語は、複数のことばがつながるとアクセントが変化することがありますが、その変化に対応できず、聞き慣れないアクセントになることがありました。

そこで、NHKでは2016年以降、さまざまな改良を加えてきました。2023年6月からは、AIそのものが「日本語発音アクセント新辞典」で調べる機能を導入しました。新機能により、アクセントの精度が上がり、アナウンサーが読むような自然な日本語に近づけられるようになりました。

例)新型コロナウイルスに伴うことば 「集団免疫ができる」

アクセントの位置

新機能 導入前

1単語ずつアクセントがついてしまうので、違和感があった

新機能 導入後

視聴者のみなさまから寄せられた声です。

- ・ AIのアナウンスが初期のころから発達し、自然な感じになって驚いた。(50代女性)
- ・ AIのアナウンスは、とても高度な技術だ。向いていない番組もあるが、ニュースで使われるのはよいと思う。(60代男性)
- ・ とても聞きやすく読み違いもなく、自然でいいと思う。(60代)

こうしたAIアナウンスの技術は、社会のさまざまな場面で活用され始めています。その一つが、災害時に命を守る“防災の呼びかけ”を公開する取り組みです。大雨や熱中症などによる被害を防ぐため、AIを活用して作成した音声データを2022年9月から専用サイトで公開し、誰でも自由に活用できるようにしました。NHKアナウンサーが改善を重ねてきた呼びかけ文と合わせて、地域の防災減災に役立ててもらおうのがねらいです。



NHKアナウンサー 命を守る“防災の呼びかけ”



呼びかけの見本

雨が強まる前に地域のハザードマップを確認するなど、近くに危険な場所がないか確認して下さい。

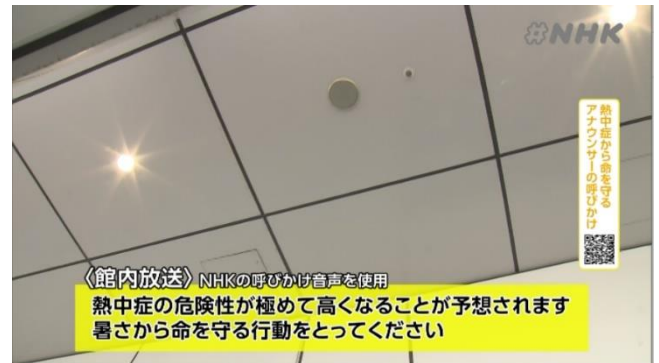
▶ 0:00 / 0:08



↓ ダウンロード

これまでに76の呼びかけ文を公開し、2023年4月から10月末までに、音声データと合わせて6,000件近くがダウンロードされました。

東京・新宿区にある大規模バスターミナルでは、熱中症対策としてNHKが公開したAIアナウンスの音声データを活用。熱中症警戒アラートが出た時に「暑さから命を守る行動をとってください」「こまめな休憩、水分や塩分の補給など暑さ対策をしてください」などの呼びかけを、館内放送で繰り返し放送。ターミナルの利用者や従業員の安全確保に役立てたということです。



バスターミナルでの活用事例の紹介

そして令和6年能登半島地震では、金沢放送局や新潟放送局で、防災証明書の発行など繰り返し伝えるべきライフライン情報についてAIアナウンスを活用しています。「アナウンサーが中継や取材など現場に出ている時にも、必要な情報を確実に届ける」。人とAIアナウンスの両方に対応しています。

AIによるアナウンスの活用については、自治体や企業などほかにもさまざまな試みが進んでいます。NHKでは今後も、新たな技術をいかして、さらなる放送・サービスの充実につなげられるよう取り組んで参ります。

NHKアナウンサー 命を守る“防災の呼びかけ”

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/>

■12月 反響の多かった番組

大みそかに放送した「第74回NHK紅白歌合戦」には、出場歌手や演出について、意見や要望が多数寄せられました。また、JO1が花火師との出会いを求めて秋田県の大曲を訪ねた「レギュラー番組への道」に多くの反響が寄せられたほか、12月1日に始まった衛星波の再編に伴って、「新・BS日本のうた」などの放送予定や視聴方法の問い合わせが数多く寄せられました。

※集計期間 12月1日～31日



<12月放送以外の番組への反響> 【ドラマ10】正直不動産2[新](1)「帰ってきた正直不動産」(1/9) 636件

3. インターネット業務への声

インターネット業務に関して、12月の受付件数は16,337件(前月比720件増)で、このうち89%がNHKプラスに関するものです。大みそかのNHK紅白歌合戦でNHKプラスのPRをしたあとは、アクセスが集中したため、「つながらない」という声が多く寄せられました。今回のことを教訓に、サーバーの増強など、対応策を検討して参ります。方で、「NHKプラスのおかげで、あさいちや大好きなドラマがゆっくり見られます」という好評意見も届いています。

このほか、NHKを名乗る架空の発信元からのメールやダイレクトメッセージについての問い合わせや相談件数は87件と、前月の196件から半数以下に減少しました。今後も状況を注視しながら、放送やホームページで注意喚起するなどの対応をとっていきます。

受付内容	件数
NHKプラス	14,525
ホームページ	666
動画音声配信(語学番組など)	388
らじる★らじる	166
NHKオンデマンド	161
モバイル機器の操作	130
その他	301
合計	16,337

4. 受信料への声

ふれあいセンター(営業)で受け付けた「意見・要望」は4,018件で、前月と比べて787件減少しました。11月と比較して、受信契約の手続き・案内に関する送付物が少なかったことが要因とみられます。

	事由	件数
送付物	受信契約の手続き・案内に関する送付物について	3,026
	受信料の支払いに関する送付物について	149
諸手続き	契約に関する事務手続きについて	271
	ウェブサイト「受信料の窓口」について	55
CASメッセージ	BSデジタル放送のメッセージ消去等について	63
受信料制度	受信料制度・不公平感・料金体系について	56
スタッフ関係	訪問員の対応・訪問日・訪問時間等について	52
番組サービス	番組内容や出演者について	19
	インターネットサービスについて	11
その他		316
合計		4,018

5. 技術・受信相談への声

ふれあいセンター(受信相談)および各放送局の受信窓口で受け付けた技術・受信相談に関する「意見・要望」や「問い合わせ」は3,605件でした。内訳は、映像が受信できないなどの「受信不良」の申し出が2,156件、「技術相談」は1,449件で前月(647件)と比べて2倍以上増加しました。これは、衛星波の再編に伴い、4Kの視聴方法などについての問い合わせが多く寄せられたためです。

	件数
受信不良	2,156
一次対応	1,382
個別受信設備不良	1,143
共同受信設備不良	204
雑音障害	22
建造物による受信障害	8
混信・難視聴など	5
二次対応	774
技術相談（受信方法などへの問い合わせ）	1,449
合計	3,605

※一次対応⇒電話による対応、二次対応⇒訪問による対応

6. 経営への声

ふれあいセンター(放送)に届いた経営に関する声は517件。最も多かったのは、「衛星波の再編」をきっかけとした受信料額や受信料制度に対する意見で、331件でした。次いで多かったのは、報道局の記者が不正な経費請求をしていた問題で、第三者委員会の調査結果と、役職員の懲戒処分の内容について90件の厳しい声が寄せられました。

受付内容	件数
衛星波の再編	331
報道局記者 不正な経費請求	90
参議院総務委員会の質疑	19
NHK経営計画	14
その他	63
合計	517

7.反響の多かった番組から
■第74回NHK紅白歌合戦
「ボーダレス 超えてつながる大みそか」
 12月31日(日)
 総合・BSプレミアム4K・BS8K・ラジオ第1
 後7:20~11:45

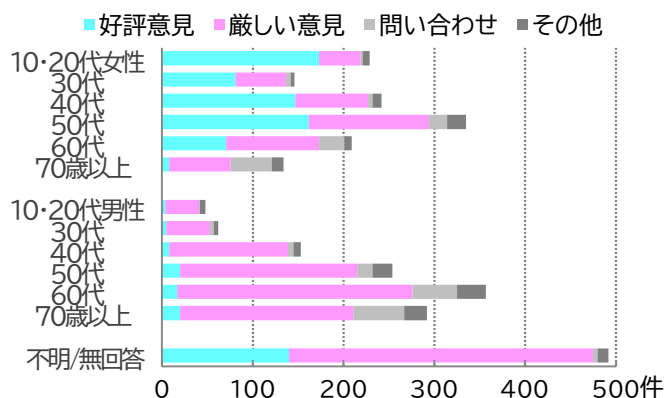


反響 2,953件 ※12月31日放送開始~1月3日で集計
 (好評意見856件、厳しい意見1,680件、問い合わせ243件、その他の意見174件)

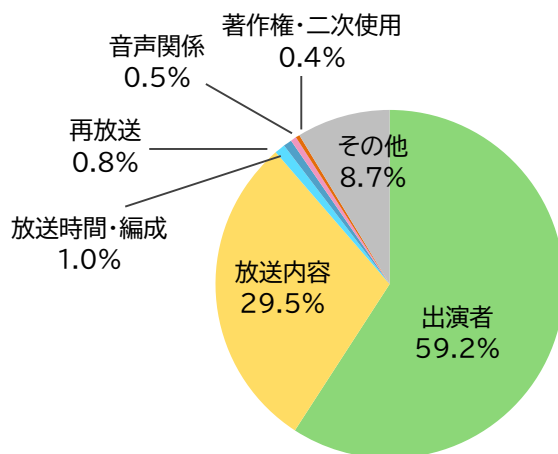
2023年のテーマは「ボーダレス」。国や、言葉や、世代を超えて人と人をつなげ感情を共有していく。そんな力が音楽にはあるという思いが込められた第74回紅白歌合戦。テレビ放送70周年を記念した特別企画をはじめ、観客をいれた特設スタジオからのライブステージや、歌とダンスパフォーマンスのコラボレーションなど、多彩な演出で49組の歌を届けました。

番組には、大みそかの放送開始から1月3日までに、過去5回と比べて最も多い2,953件の声が幅広い年代から寄せられました。「世代を超えて盛り上がった」「さまざまなアーティストのコラボや特別企画を楽しめた」といった好評の声の一方、「歌をじっくり聞きたかった」「歌の合間の余興が少ない」など厳しい意見も寄せられました。また、演出内容に関する問い合わせや要望など、さまざまな反響がありました。

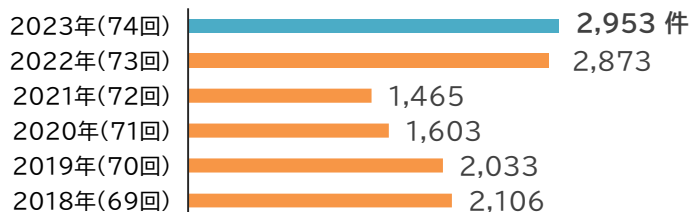
●意向種別×年代性別



●受け付け内容の内訳



●過去5回の意向件数推移



【主な内容】

○番組全般

<好評意見>

- ・ 本当にすばらしかった。こんなに最初から最後まで楽しめたのは初めてで、親族一同大盛り上がり。さまざまなコラボも大変良かった。また今年も楽しい企画を楽しみにしている。(40代女性)
- ・ 今回の紅白歌合戦はスピード感があって、楽曲、パフォーマンスを楽しめた。娘と一緒にK-popを楽しみ、娘は母と一緒に昭和歌謡を楽しみ、幸せな年越しとなった。(50代女性)
- ・ 全体的に、めでたい！祭りだ！と感じる場面が多く、紅白でしか実現し得ない映像で終始興奮していた。絶対に来年も見たいなと思ったし、テレビもまだまだおもしろいんだと感じた。(30代男性)
- ・ 今回は出演者同士が、紅白関係なく、世代もジャンルも超えて共演する演目が多く、まさにボーダレス。明るい曲も多くてとても楽しいコロナ禍明けの世の中にふさわしい紅白だった。(40代女性)

<厳しい意見>

- ・ 一人でしっかり歌う場面が少なく、他の歌手が歌う人の前で踊るなど、ごちゃごちゃしていたように感じた。基本的にその人の歌を聞きたい。別スタジオや中継の演出も多かった。ファンの人を入れたいのかもしれないが、NHKホールで生の感じで歌ってほしい。(70歳以上女性)
- ・ 若い人の歌が多かったというのもあるが、歌の合間の余興が少なかった。そのため、ほのぼのした部分が少なく、番組の進行もテキパキして淡々とした印象を受けた。(60代男性)
- ・ ボーダレスをうたっているのに、赤白男女に分かれているのが疑問。(50代男性)
- ・ 年の暮は、歌を聞いて、1年を振り返る機会にしたいのに、知らない人ばかりで選考方法に疑問を覚えた。また、歌っているときに歌詞が読み取れなかった。(70歳以上男性)

○出演者と演出について

<好評意見>

- ・ 白組1組目のJO1がとても印象的で良かった。出演者をつなぐ一体感のあるステージ、明るくエネルギーのあるパフォーマンスに元気をもらった。(20代女性)
- ・ 坂本冬美さんのすばらしい歌唱力と、JO1とBE:FIRSTのダンスの振り付け、表現力の調和がすばらしく、とてもすてきだった。NHKプラスで何度も見ている。(40代女性)
- ・ 石川さゆりさんとウクライナの民族楽器との共演は、日本にいる私たちがウクライナの方への配慮を忘れないためにも良かったと思う。必要なこと、大切なことを実践するNHKの姿勢に胸を打たれた。(50代男性)
- ・ YOASOBIの「アイドル」生歌唱は、期待以上の演奏と歌唱で、今をときめく世界的アイドルがひとつのステージに上がり、世界的ヒットの「アイドル」を踊るという2023年度最高のコラボだった。(40代女性)
- ・ 司会の三人がとても良く、安心して見ることができた。若い世代の音楽も新鮮で、YOSHIKIさん、福山雅治さん、MISIAさんは感動して涙が出た。(50代女性)

<厳しい意見>

- ・ 山内恵介さんが浅草から中継で出演する際、男性の芸人が裸体をさらして笑いを取る演出に、子どもも含めて家族全員が不快に感じた。(50代男性)

※同様意見 56件

- ・ 大泉洋さんの歌唱がすばらしかった。ただ、フルサイズでなかったのがとても残念。2番をカットしてしまうと歌詞の内容がおかしくなってしまう。きちんと最高のパフォーマンスが発揮できる場を提供すべきだ。(40代女性)
- ・ YOSHIKIさんの出演をもっと長く見ていたかった。あまりにも豪華なメンバーだったこともあり、2曲だけでは短く感じた。(60代男性)
- ・ けん玉のギネスチャレンジについて、アナウンサーから残念ながら失敗だった、というコメントはあったが、それだけだと何があつてそうなったのか、まったくわからない。そのあたりをもう少しきちんと伝えてほしかった。(70歳以上男性)

※三山ひろしさんのけん玉チャレンジについての問い合わせや要望 74件

- ・ もっと日本のアーティストの紹介をする場にして国内音楽の活性化につながる機会にしてほしい。外国のアーティストを呼ぶなら韓国だけでなく様々な国を紹介してほしい。(40代男性)

○テレビ放送70年 特別企画「テレビが届けた名曲たち」について

- ・ 寺尾聰さんの「ルビーの指環」は亡くなった父が大好きな曲。父を懐かしみながら涙を流しながら聞いた。(60代女性)
- ・ 寺尾聰さんの「ルビーの指環」、薬師丸ひろ子さんの「セーラー服と機関銃」など80年代の歌が逆に新鮮ですごく刺さった！(20代女性)
- ・ ポケットビスケッツ×ブラックビスケッツのコラボは最高！世代というのもあるが、ウンナンそろって出ているのもうれしいし、ブラビの歌をウッチャンが弾いているのにも感動した。(30代女性)
- ・ 伊藤蘭さんの歌と一緒に口ずさんでいたら、途中からなんともいえず込み上げるものがあり、横にいる主人も目頭を拭いていた。(60代女性)

○純烈×NHKプラス 連動企画について

- ・ 紅白歌合戦でNHKプラスで特別画像が見られると説明されたので、QRコードを読みとってアクセスしたら、アプリが必要で、急いでダウンロードしたら、今度は会員登録が必要だという表示が出て間に合わなかった。(年代不明)
- ・ QRコードが画面から外れて読み込めない。テレビの真ん中に表示されても用意している間に消えてしまう。もっと長く表示してほしい。(70歳以上女性)
- ・ 純烈のQRコード演出を観ようと思いアクセスしたら、混み合っていてつながるのを待っている間に曲が終わってしまった。こういう独自演出はとてもいいと思うが、アクセスが殺到するのは間違いないと思うので、事前に予告するなど工夫してほしい。(19歳以下男性)
- ・ 純烈がNHKプラスをPRしたらサーバーがダウンした。このような企画を実施するなら、どれくらいのアクセスが集中してどれくらいの負荷が掛かるか事前に想定し、然るべき準備を整えてからにしてほしい。(50代男性)

※放送時間中にNHKプラスにアクセスできない、見られない等 183件

7.反響の多かった番組から

■【大河ドラマ】どうする家康<全48回>

1月8日(日)~12月17日(日)

総合 後8:00~8:45

BSプレミアム・BSプレミアム4K

後6:00~6:45



反響 20,691件 ※1月1日~12月18日で集計

(好評意見 8,282件、厳しい意見 3,883件、問い合わせ 6,166件、その他の意見 2,360件)

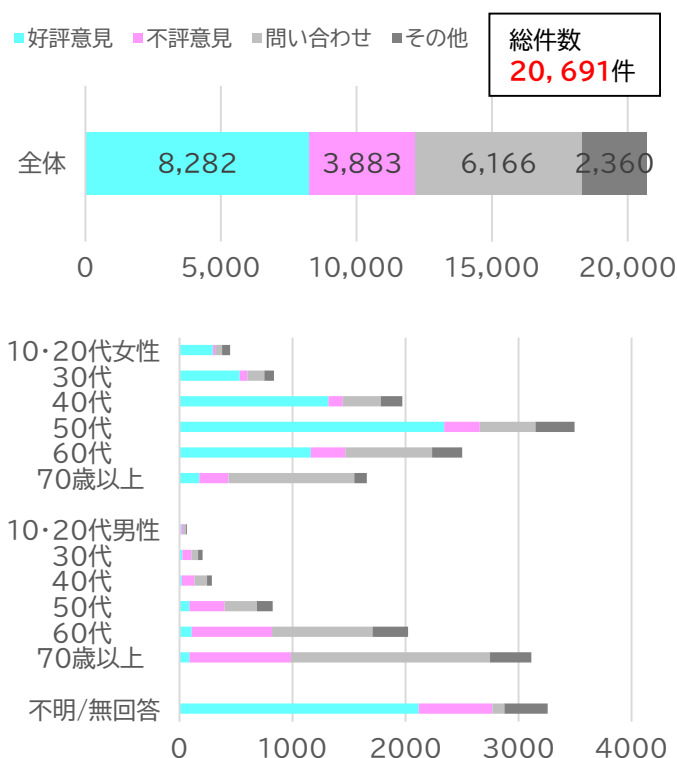
幼少期から人質となり孤独な少年・竹千代が、三河武士の熱意に動かされ、乱世を生きる運命を受け入れ未来を切り開く—誰もが知る歴史上の人物、徳川家康の生涯を新たな視点で描くもので、家康役を松本潤さんが演じました。

意向総数は20,691件で過去3作と比べて大変多くなりました(2022年「鎌倉殿の13人」9,091件/2021年「青天を衝け」12,553件/2020年「麒麟がくる」14,420件)。このうち、好評意見が最も多く8,282件で40%を占めました。

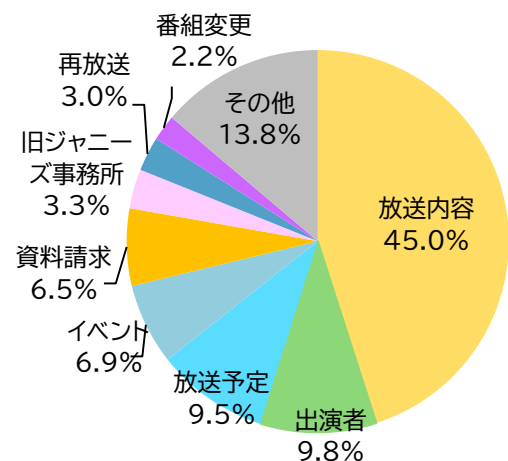
受付内容の内訳(円グラフ)をみると、「放送内容」に関するものが最も多く45.0%。「テンポがよく、わかりやすく面白い」「戦国時代の女性にスポットをあてている」など、脚本の古沢良太さんが手がけるストーリー展開や登場人物の取り上げ方についての好評の声のほか、大河ドラマでは今作から本格導入されたVFXなどの最新技術に対する賛否両論や、あえて音を消した“無音”の演出などを評価する声がありました。

「出演者」(9.8%)については、家康役の松本潤さんや、織田信長を演じた岡田准一さんなどの演技に対する声が多く、アドリブを交え熱のこもった演技に好評の声が集まりました。このほか、アニメを用いたオープニングタイトルや番組関連のイベント、番組の公式SNS展開に対しても反響がありました。

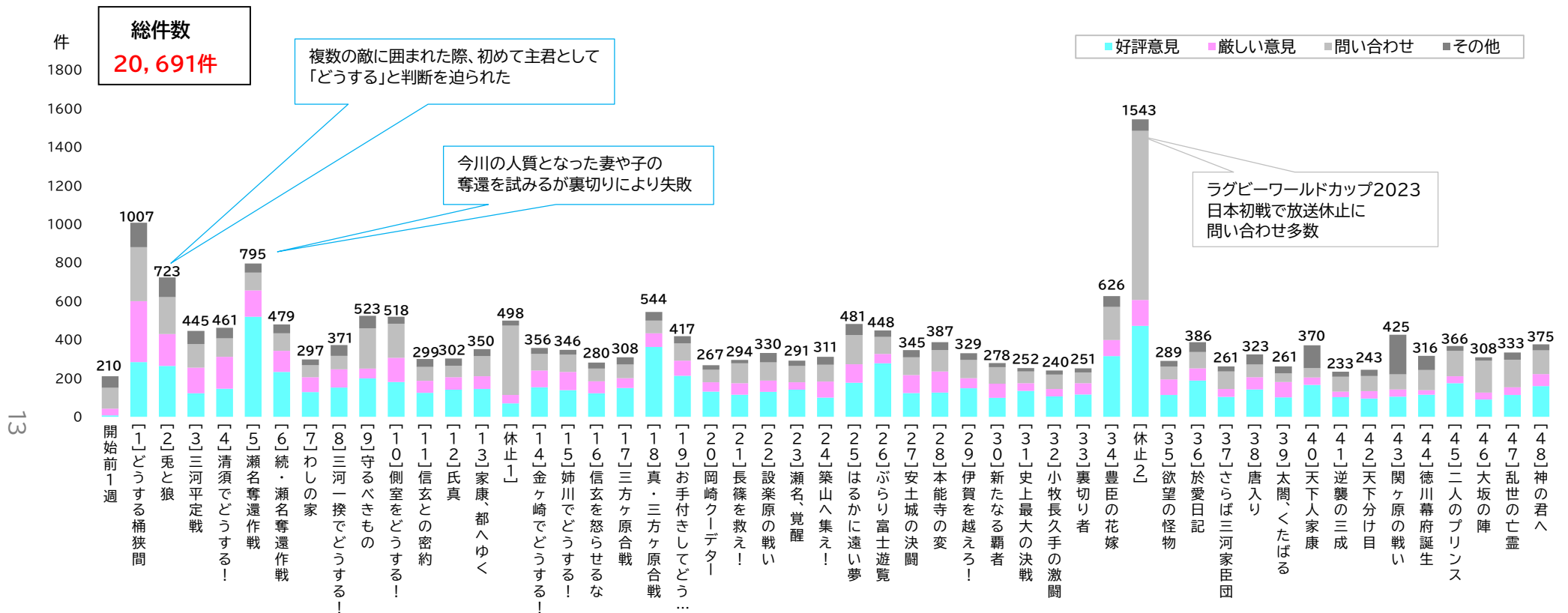
●意向種別×年代性別



●受付内容の内訳



●受付件数と意向種別の推移



放送期間中の受付件数と意向種別の推移をみると、全ての放送回を通して200件以上の反響があり、最も多かったのは、ラグビーワールドカップ2023の日本初戦で放送休止となった週で、放送予定の問い合わせが多く寄せられました。続いて、第1回の「どうする桶狭間」の1,007件。松本潤さんの大河ドラマ初主演への期待の声などが多く寄せられました。さらに、第5回の「瀬名奪還作戦」の795件。今川勢に捕らわれた妻・瀬名や子どもたちを忍者を使い救い出そうとするも、裏切りにより失敗するという展開に「ハラハラドキドキした」との感想が多く届きました。4番目は第2回の「兎と狼」で723件。初めて、タイトルにある『どうする』という決断を求められる回で、弱々しい若き元康(後の家康)が主君として覚醒し、今後どう成長していくのか楽しみだという声が多く寄せられました。

【主な内容】

○脚本について

- ・ これまで大河を見てこなかった人にもわかりやすくおもしろい。テンポがよく、大河ドラマおもしろい!とひきつけられる作品になっていると思う。(50代女性)
- ・ 一見コメディ満載の息抜き回のようにありながら随所に今後のストーリー展開のもととなるものが込められていて、見れば見るほど見応えを感じた。(50代女性)
- ・ 史実にはない部分も、その先の史実に絡むようなストーリー展開だと感じる。(40代女性)
- ・ 第1回から続けて見てきたからこそその伏線回収や驚きがあり、悲しみが倍増だった。(40代女性)
※伏線回収の巧みな脚本 同意見52件
- ・ ハラハラドキドキそして、涙があふれて拍手をしてしまうエンターテインメントの大河ここにあり!と興奮している。(60代女性)
- ・ 登場人物それぞれの個性が立っているので、名前が覚えきれなくても、顔で関係性を把握出来、それぞれの方の演技のテンポが違うのにととてもうまくみ合っていて、飽きさせないすごさを実感した。(40代女性)
- ・ 自分の信念の下、強く生きている・戦国時代の女性については詳細な記録が残されていないことが多くあいまいなどを素敵に埋めている。ああそうだったのかもしれないと思わせてくれる。(年代不明)

※女性の描き方について同意見10件

○演出について

▼最新技術のVFX

- ・ VFXの映像は、あの時代の世界観がよりリアルに伝わってきて、私はすごく好きだし、ゲーム好きな息子には全く違和感がないようだ。(50代女性)
- ・ CGやVFXを使った新しい試みも今までの家康像とはまた違った視点で作られ、とてもとても楽しみ。(年代不明)
- ・ 圧巻の合戦シーンはド迫力で、今作のVFXを使用した合戦シーンの最適解だったと思う。今後描かれる大坂の陣が楽しみになった。(30代女性)
※VFXを使った演出への好評意見13件
- ・ VFXなど新しい取り組みへの挑戦も感じられて良かった。ただ、CGの乗馬シーンは、ん?と思うところはあった。(30代女性)
- ・ なぜVFXを主体にドラマを構成するのか、あれではゲームの世界にいるようで現実味がまるでない。(50代女性)

※VFXを使った演出への厳しい意見11件

▼無音を生かした表現

- ・ 史実は知っているけれど家康公と家臣団の勝つぞ!的な心の勢いの後の無音。絶望感に満ちた家康公の顔。戦いの場面がなくても負けたんだってわかる演出。すごい!(40代女性)
- ・ 新たな戦法を描いたシーンは非常に見応えがあって、無音の演出がとても効果的で食い入るように画面に見入った。凄惨な戦場の様子にあっけにとられる徳川父子の姿が心に残った。(50代女性)
- ・ 無音からの生々しい戦いの音。メインテーマが流れるタイミング。音がとても印象的…目を背けたくなるけれど、これが戦。一貫して勝者と敗者だけでない悲しい描き方が心に刺さった。(年代不明)

※無音の演出に関する意見15件

○出演者について

- ・ 松本潤さんが非常にチャーミングにナイーブな家康公を演じていて豊かな表情と秀逸な演技に終始ひきこまれた。(50代女性)
- ・ 岡田信長と松潤家康の緊迫したやり取りと、ふたりの距離感・空気感は絶妙だしすごかった。(70歳以上女性)
- ・ 信康が自害された報告を受けた時の何も映らない殿の目の演技がすごかった。(50代女性)
- ・ 本多忠勝(山田裕貴さん)も榊原康政(杉野遥亮さん)の言葉はなくても表情や目の演技で、心が家康に向いていこうとしているのがわかった。(50代女性)
- ・ 本多正信(松山ケンイチさん)と服部半蔵(山田孝之さん)の参加でさらにパワーアップされた。前半はコミカルなシーン、後半はがらりと変わり、見ているこちらは、え？えっ？と動揺してしまうぐらい。(50代女性)
- ・ 石川数正(松重豊さん)が「殿を天下人に」と目を輝かせて声を張り上げて伝える演技と、涙をつと流す姿にジーンときた。松重さんの最後のセリフはアドリブだと聞いた。2人の迫真の演技に感動。(50代女性)
- ・ 有村架純さん(瀬名役)はまるで命を賭けているかのような演技で、怖いものを見てしまったかのような気分になった。(70歳以上男性)
- ・ 北川景子さん演じる茶々の妖艶な美しさ、そして計算高い女性の嫌な面が見事に演じられていて、お市とは全然違う印象、さすがだ。(40代女性)
- ・ 今まで出てきた「えびすくい」、史上最高級なのは間違いないのですが、なぜかいろいろな感情が生まれ涙しながら見てしまった。(不明)
- ・ 待ちに待った「えびすくい」。笑っているのに独りになると孤独を感じる殿に何度も涙があふれた。(40代女性)

※徳川家臣団が宴会で披露した踊り「えびすくい」の演技についての感想 232件

○オープニング CG

- ・ オープニングのテーマ曲の映像も「兎(うさぎ)と狼(おおかみ)」の追いかけっこになっていて、手が込んでいるところも良かった。(50代女性)
- ・ オープニングCGが、すごく軽いものから黒漆塗りっぽい下地に金まき絵っぽい感じの重厚なものになっていて、家康人生最大の峠越えがとても記念されていてすごく良かった。(不明)
- ・ 新しいオープニング！今までとは違い具現化された家康の目指す世なのかなと思った。富士山を背に人々が行き交う様子は、家康と瀬名の夢見た世界なのでしょうね。(60代女性)

※オープニング CG、タイトルについて好評意見 178件

○イベントについて

▼東海地方限定イベント

- ・ 「どうする家康東海プレミアリレー」にとっても楽しく参加することが出来た。(19歳以下女性)
- ・ 『『どうする家康』 松本潤&家臣団が大集結！ウラ話トークSP』は全国でも放送してほしい。(30代女性)

▼大河ドラマ館(愛知県岡崎市、静岡県静岡市、浜松市)

- ・ 学生時代、日本史は苦手科目でしたがとても面白い。岡崎の大河ドラマ館に足を運ぶほどハマっている。(30代女性)
- ・ 3つの大河ドラマ館全てに行かせてもらった。その土地のすてきな所を自ら発信してくれて楽しみが2倍になった。(50代女性)

※ドラマ館へ出向いた感想 96件

▼大河ドラマ「どうする家康」ファン感謝祭

- ・ これだけの豪華な俳優さんそろい踏みでありながら、NHKホールというキャパではとても当選する気がしませんし、会場の皆さまだけしか楽しめないのはもったいなさすぎる。どうか、生配信、全国放送、DVD化をお願いしたい。(年代不明)

※感謝祭についての意見 114件

○ホームページ、公式SNSでの発信などについて

- ・ 公式SNSをはじめ、キャストの皆さんのSNS発信や、舞台裏の発信も楽しませてもらっている。特に殺陣(たて)の稽古の様子や演じた時の裏話などが見られて、よりドラマが楽しめる。(30代女性)
- ・ SNSを発信していただき大変うれしくなった。こういう貴重な裏話やメイキングの発信、これからも期待している。(40代女性)
- ・ Twitter や Instagram で演者の方や番組がさまざまな情報を公開してくれたり、まとめ動画やインタビュー動画をアップしたりしてくださり、より深く「どうする家康」を楽しむことができるので、とてもうれしい。(19歳以下女性)
- ・ 友達や家族も「どうする家康」を見ているので、LINEスタンプを購入して、早速使った。話題が弾みます。(50代女性)

※SNSなどに要望や感想の同意見 115件

< 厳しい意見 >

- ・ 家康の側室となる女性に関して同性愛者として描かれていたが、昨今のLGBTQ問題を意識した演出ではないか。(70歳以上男性)

※LGBTQ関連の同意見27件

- ・ 回想シーンが多すぎる。大河はじっくり1年かけて人の生き様や感情を描いていくのに、突然現れた人物が何か主張したり、何か起こしてすぐ消えたりするので感情移入できない。(20代女性)

※回想シーンについて同意見 51件

- ・ 旧ジャニーズ事務所の性被害問題。今後、旧ジャニーズのタレントを使わないでほしい。大河ドラマは特に。(60代男性)

※旧ジャニーズ事務所関連への厳しい意見 241件